

グローバル3倍3分法ファンド (1年決算型)

追加型投信／内外／資産複合

交付運用報告書

第5期(決算日2023年9月21日)

作成対象期間(2022年9月22日～2023年9月21日)

| 第5期末(2023年9月21日) | |
|------------------|------------|
| 基準価額 | 12,360円 |
| 純資産総額 | 163,277百万円 |
| 第5期 | |
| 騰落率 | 0.9% |
| 分配金(税込み)合計 | 0円 |

(注) 騰落率は分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

○交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書(全体版)に記載しております。

○当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、下記の手順にて閲覧・ダウンロードいただけます。

<運用報告書(全体版)の閲覧・ダウンロード方法>

右記URLにアクセス ⇒ ファンド検索機能を利用して該当ファンドのページを表示 ⇒ 運用報告書タブを選択 ⇒ 該当する運用報告書をクリックしてPDFファイルを表示

○運用報告書(全体版)は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、「グローバル3倍3分法ファンド(1年決算型)」は、2023年9月21日に第5期の決算を行ないました。

当ファンドは、主として、日本を含む世界各国の株式、不動産投信および債券などを実質的な投資対象とする投資信託証券の一部、またはすべてに投資を行ない、インカム収益の確保と信託財産の成長をめざして運用を行なっております。

ここに、当作成対象期間の運用経過等についてご報告申し上げます。

今後とも一層のお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

<944432>

日興アセットマネジメント株式会社

東京都港区赤坂九丁目7番1号
www.nikkoam.com/

当運用報告書に関するお問い合わせ先

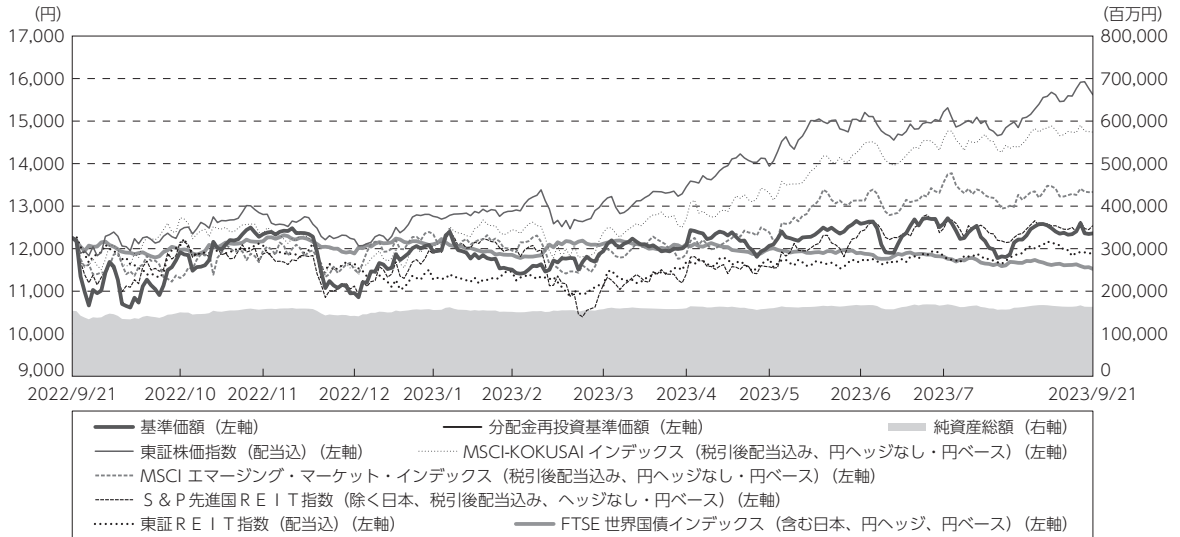
コールセンター 電話番号：0120-25-1404
午前9時～午後5時 土、日、祝・休日は除きます。

●お取引状況等についてはご購入された販売会社にお問い合わせください。

運用経過

期中の基準価額等の推移

(2022年9月22日～2023年9月21日)



期 首：12,252円

期 末：12,360円 (既払分配金(税込み)：0円)

騰落率： 0.9% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額、東証株価指数(配当込)、MSCI-KOKUSAIインデックス(税引後配当込み、円ヘッジなし・円ベース)、MSCI エマージング・マーケット・インデックス(税引後配当込み、円ヘッジなし・円ベース)、S & P 先進国 R E I T 指数(除く日本、税引後配当込み、ヘッジなし・円ベース)、東証 R E I T 指数(配当込)および FTSE 世界国債インデックス(含む日本、円ヘッジ、円ベース)は、期首(2022年9月21日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 東証株価指数(配当込)、MSCI-KOKUSAIインデックス(税引後配当込み、円ヘッジなし・円ベース)、MSCI エマージング・マーケット・インデックス(税引後配当込み、円ヘッジなし・円ベース)、S & P 先進国 R E I T 指数(除く日本、税引後配当込み、ヘッジなし・円ベース)、東証 R E I T 指数(配当込)および FTSE 世界国債インデックス(含む日本、円ヘッジ、円ベース)は当ファンドの参考指数です。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドは、主として、日本を含む世界各国の株式、不動産投信（REIT）および債券などを実質的な投資対象とする投資信託証券の一部、またはすべてに投資を行ない、インカム収益の確保と信託財産の成長をめざして運用を行なっております。当作成期間中における基準価額の主な変動要因は、以下の通りです。

<値上がり要因>

- ・国内外の株式市場が上昇したことから、国内株式資産および海外株式資産を保有したことがプラス要因となりました。
- ・投資先通貨が円に対して概して上昇したことなどから、海外株式資産および海外新興国株式資産を保有したことがプラス要因となりました。

<値下がり要因>

- ・国内外のREIT市場が下落したことから、国内REIT資産および海外REIT資産を保有したことがマイナス要因となりました。
- ・国内外の債券市場が総じて下落したことから、国内債券先物資産および海外債券先物資産を保有したことがマイナス要因となりました。

1万口当たりの費用明細

（2022年9月22日～2023年9月21日）

| 項 目 | 当 期 | | 項 目 の 概 要 |
|-----------------------|------|---------|--|
| | 金 額 | 比 率 | |
| (a) 信 託 報 酬 | 47 | 0.39% | (a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 |
| （ 投 信 会 社 ） | (18) | (0.154) | 委託した資金の運用の対価 |
| （ 販 売 会 社 ） | (26) | (0.220) | 運用報告書など各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供などの対価 |
| （ 受 託 会 社 ） | (3) | (0.022) | 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価 |
| (b) そ の 他 費 用 | 1 | 0.010 | (b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 |
| （ 監 査 費 用 ） | (1) | (0.004) | 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 |
| （ 印 刷 費 用 等 ） | (1) | (0.006) | 印刷費用等は、法定開示資料の印刷に係る費用、運用において利用する指数の標章使用料など |
| （ そ の 他 ） | (0) | (0.000) | その他は、信託事務の処理等に要するその他の諸費用 |
| 合 計 | 48 | 0.406 | |
| 期中の平均基準価額は、11,949円です。 | | | |

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

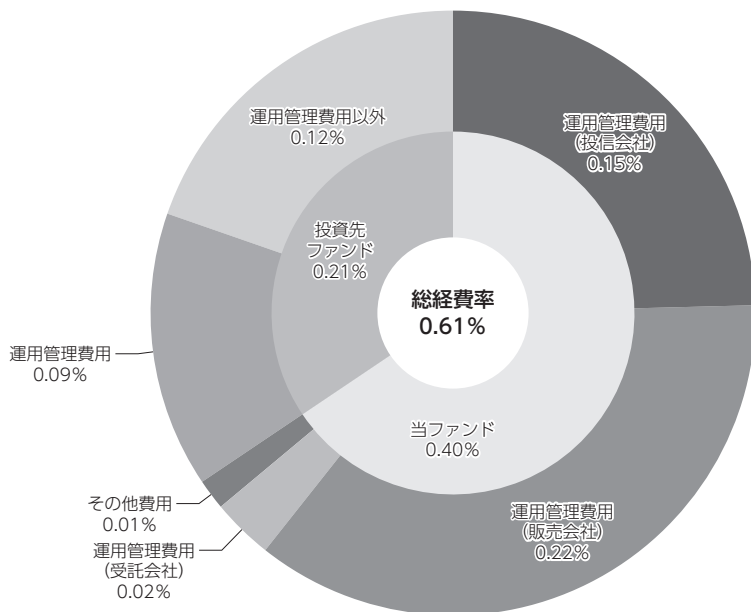
(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(注) この他にファンドが投資対象とする投資先においても信託報酬等が発生する場合があります。

(参考情報)

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.61%です。



(単位: %)

| | |
|----------------------|------|
| 総経費率(①+②+③) | 0.61 |
| ①当ファンドの費用の比率 | 0.40 |
| ②投資先ファンドの運用管理費用の比率 | 0.09 |
| ③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率 | 0.12 |

(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 「その他費用」には保管費用が含まれる場合があります。なお、「その他費用」の内訳は「1万口当たりの費用明細」にてご確認いただけますが、期中の費用の総額と年率換算した値は一致しないことがあります。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（親投資信託を除く。）です。

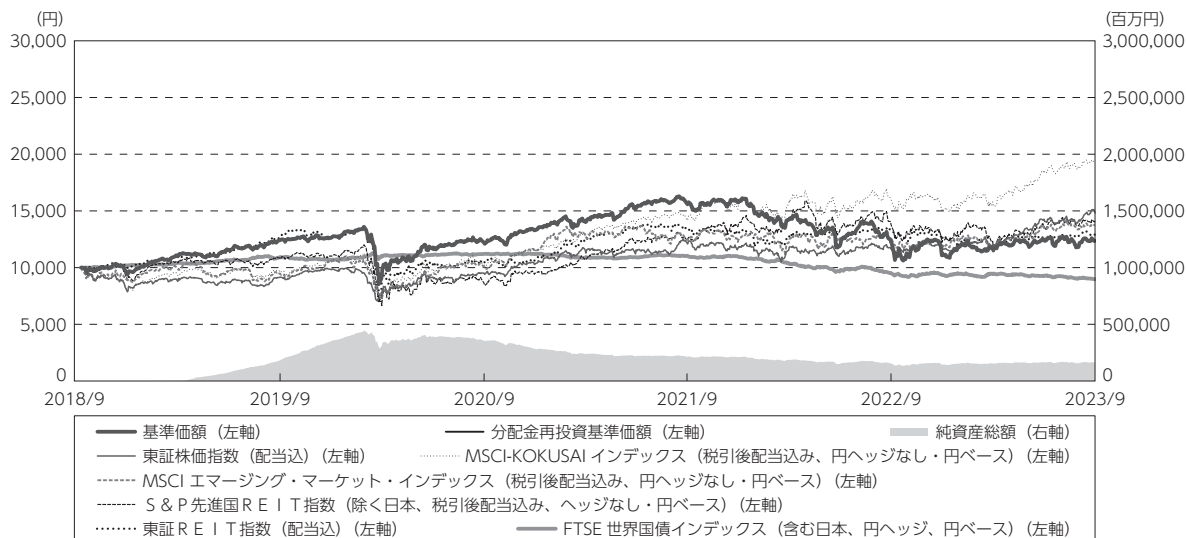
(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) 当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近5年間の基準価額等の推移

(2018年9月21日～2023年9月21日)



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
 (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
 (注) 東証株価指数（配当込）、MSCI-KOKUSAI インデックス（税引後配当込み、円ヘッジなし・円ベース）、MSCI エマージング・マーケット・インデックス（税引後配当込み、円ヘッジなし・円ベース）、S & P 先進国 R E I T 指数（除く日本、税引後配当込み、ヘッジなし・円ベース）、東証 R E I T 指数（配当込）および FTSE 世界国債インデックス（含む日本、円ヘッジ、円ベース）は、設定時の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
 (注) 当ファンドの設定日は2018年10月4日です。

| | 2018年10月4日 設定日 | 2019年9月24日 決算日 | 2020年9月23日 決算日 | 2021年9月21日 決算日 | 2022年9月21日 決算日 | 2023年9月21日 決算日 |
|--|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|
| 基準価額 (円) | 10,000 | 12,436 | 12,205 | 15,638 | 12,252 | 12,360 |
| 期間分配金合計 (税込み) (円) | — | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 分配金再投資基準価額騰落率 (%) | — | 24.4 | △ 1.9 | 28.1 | △ 21.7 | 0.9 |
| 東証株価指数 (配当込) 騰落率 (%) | — | △ 8.5 | 3.9 | 28.3 | △ 4.7 | 27.5 |
| MSCI-KOKUSAI インデックス (税引後配当込み, 円ヘッジなし・円ベース) 騰落率 (%) | — | △ 3.3 | 6.3 | 37.9 | 13.1 | 20.3 |
| MSCI エマージング・マーケット・インデックス (税引後配当込み, 円ヘッジなし・円ベース) 騰落率 (%) | — | △ 5.4 | 6.5 | 23.5 | 1.5 | 8.8 |
| S & P 先進国 R E I T 指数 (除く日本, 税引後配当込み, ヘッジなし・円ベース) 騰落率 (%) | — | 8.4 | △ 20.5 | 44.2 | 11.1 | 2.4 |
| 東証 R E I T 指数 (配当込) 騰落率 (%) | — | 25.8 | △ 17.4 | 29.3 | △ 0.9 | △ 3.2 |
| FTSE 世界国債インデックス (含む日本, 円ヘッジ, 円ベース) 騰落率 (%) | — | 9.2 | 2.6 | △ 1.5 | △ 13.7 | △ 5.9 |
| 純資産総額 (百万円) | 150 | 181,245 | 355,637 | 214,680 | 153,892 | 163,277 |

- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
 (注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。
 (注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。
 ただし、設定日の基準価額は設定当初の金額、純資産総額は設定当初の元本額を表示しており、2019年9月24日の騰落率は設定当初との比較です。
 (注) 東証株価指数（配当込）、MSCI-KOKUSAI インデックス（税引後配当込み、円ヘッジなし・円ベース）、MSCI エマージング・マーケット・インデックス（税引後配当込み、円ヘッジなし・円ベース）、S & P 先進国 R E I T 指数（除く日本、税引後配当込み、ヘッジなし・円ベース）、東証 R E I T 指数（配当込）および FTSE 世界国債インデックス（含む日本、円ヘッジ、円ベース）は当ファンドの参考指数です。
 参考指数は投資対象資産の相場を説明する代表的な指数として記載しているものです。

投資環境

（2022年9月22日～2023年9月21日）

（市況）

国内株式市場では、期間の初めと比べて、東証株価指数（TOPIX）および日経平均株価指数はともに上昇しました。欧米の金融機関の経営危機や破綻を契機とした欧米景気の悪化が警戒されたこと、日銀が金融政策決定会合において長短金利操作（イールドカーブ・コントロール）の運用の柔軟化を決定したことを背景に国内長期金利が上昇したことなどが株価の重しとなったものの、米国の消費者物価指数（CPI）が市場予想を下回り、米国連邦準備制度理事会（FRB）の利上げペースが減速するとの期待や、中国で新型コロナウイルスを抑え込むゼロコロナ政策が解除され、中国景気の回復が期待されたこと、米国の金融当局が預金者保護を表明したことや主要中央銀行による流動性供給などを受けて金融システムへの警戒感が和らいだこと、日銀新総裁が就任会見において金融緩和政策を継続する考えを示したこと、国内企業の概ね堅調な決算内容を受けて投資家心理が改善したことに加えて、国内株式市場の相対的な割安感を背景に海外投資家の買いが膨らんだことなどが支援材料となり、国内市場の株価は上昇しました。

海外株式市場では、期間の初めと比べて、欧米諸国の株価は概して上昇しました。インフレ抑制のため欧米の主要中央銀行が利上げを継続したこと、米国の地方銀行の経営破綻やスイスの大手金融グループの経営悪化から金融システムに対する不安が高まったことなどが株価の重しとなったものの、米国のCPIなどのインフレ指標が市場予想を下回り、FRBの利上げペース鈍化への期待が強まったことや、ユーロ圏やドイツのCPIが市場予想を下回りインフレ圧力の緩和が見られたこと、交渉難航が懸念された米国政府の債務上限問題を巡る政府と野党の協議が最終的に基本合意し、米国で債務上限停止法案が成立したこと、公表された米国の2023年4～6月期の企業業績が概ね良好な内容となったことなどを背景に、欧米諸国などの株価は概して上昇しました。

新興国株式市場では、各国の株価はまちまちの動きとなりました。期間の初めから2023年3月中旬にかけては、世界的なインフレ懸念を背景に複数の新興国および欧米の主要中央銀行が利上げを継続したことや、原油価格の下落により産出国経済への影響が懸念されたことなどが株価の重しとなる一方、中国において新型コロナウイルスを抑え込むゼロコロナ政策が解除され中国景気の回復が期待されたことや、中国当局による不動産市場支援やハイテク企業に対する規制緩和などを受けて、新興国株式市場への投資家心理が上向いたことなどが支援材料となり、各国の株価はまちまちの動きとなりました。3月下旬から期間末にかけては、中国の購買担当者景気指数（PMI）や小売売上高、鉱工業生産などの経済指標が市場予想を下回り中国景気の先行き不安が強まったこと、中国の不動産市況の悪化が警戒されたことなどが株価の重しとなったものの、中国人民銀行が景気下振れリスクの抑制のため最優遇貸出金利を引き下げたことや、インドの鉱工業生産が市場予想を上回りインド経済の高成長への期待が高まったこと、中国当局による景気対策への期待が高まるなか、中国共産党の中央政治局会議で景気刺激策を追加する方針が示されたことなどが支援材料となり、各国の株価は概して上昇しました。

国内のREIT市場では、東証REIT指数（配当込）は期間の初めと比べて下落しました。期間の初めから2023年3月中旬にかけては、都心部オフィスにおける空室率が低下したことや、日銀が指値オペを継続し国内長期金利の上昇を抑制したこと、衆議院議院運営委員会での次期日銀総裁候補への所信聴取を受けて、日銀の現在の金融緩和政策が当面続くとの見方が強まったことなどがREIT価格の支援材料となったものの、都心部オフィスにおける平均賃料が下落したことや、日銀が金融政策決定会合においてイールドカーブ・コントロールにおける長期金利の許容変動幅の拡大を決定したことを受けて

国内長期金利が上昇したこと、インフレ抑制のため欧米の主要中央銀行が利上げを継続したことなどがREIT価格の重しとなり、東証REIT指数（配当込）は下落しました。3月下旬から期間末にかけては、都心部オフィスにおける空室率が上昇したことに加え平均賃料が下落したことや国内長期金利が上昇したこと、インフレ抑制のため欧米の主要中央銀行が利上げを継続したことなどがREIT価格の重しとなったものの、日銀新総裁が就任会見において現行の金融緩和政策を継続する考えを示したことや、国内株式市場が堅調に推移し投資家のリスク回避姿勢が後退したことなどがREIT価格の支援材料となり、東証REIT指数（配当込）は上昇しました。

海外のREIT市場では、S&P先進国REIT指数（除く日本）は期間の初めと比べて下落しました。期間の初めから2023年3月下旬にかけては、FRBによる金融引き締めペースの減速が期待されたことや、欧州中央銀行（ECB）が今後の政策金利の引き上げに慎重な姿勢を示したこと、これらを受けて株式市場が上昇したことなどがREIT価格の支援材料となったものの、世界の主要中央銀行が政策金利を引き上げたことや、FRBおよびECBによる金融引き締め継続が見込まれたこと、欧米の金融機関の経営破綻や経営不安などを背景に投資家のリスク回避姿勢が強まったことなどを受けて、同指数は下落しました。4月上旬から期間末にかけては、FRBやECBなどが政策金利を引き上げたことや、一部の米国地方銀行を巡る懸念などが警戒されたものの、今後のFRBによる利下げ転換への期待の高まりや、米国連邦政府の債務上限停止法案が上下両院で可決され、懸念された債務不履行（デフォルト）が回避されたこと、米国の小売売上高が市場予想を上回り個人消費の底堅さを示したことなどから米国景気の悪化懸念が和らぎ株式市場が上昇したことがREIT価格の支援材料となり、同指数は上昇しました。

国内債券市場では、10年国債利回りは期間の初めと比べて上昇（債券価格は下落）しました。米国の地方銀行の経営破綻やスイスの大手金融グループの経営悪化への懸念を受けて投資家のリスク回避姿勢が強まったことや、日銀新総裁が就任会見において現行の金融緩和政策を継続する考えを示したことなどから、利回りが低下（債券価格は上昇）する局面があったものの、日銀が金融政策決定会合においてイールドカーブ・コントロールにおける長期金利の許容変動幅の拡大を決定したことや、米国の金融当局が預金者保護を表明したことや主要中央銀行による流動性供給などを受けて金融システムへの警戒感が和らいだこと、米国で発表された経済指標が市場予想を上回り、FRBによる利上げが継続するとの見方が強まったこと、日銀がイールドカーブ・コントロールの運用の柔軟化を決定し長期金利の先高観が強まったこと、日銀総裁の報道機関のインタビューに対する発言を受けて、金融緩和政策の早期の修正観測が高まったことなどから、10年国債利回りは上昇しました。

海外債券市場では、米国、ドイツ、英国など各国の10年国債利回りは、期間の初めと比べて総じて上昇しました。期間の初めから2023年3月下旬にかけては、中国における新型コロナウイルスの感染拡大や、中国のゼロコロナ政策に対する相つぐ抗議活動、欧米の金融機関の経営破綻や経営不安を背景に投資家のリスク回避姿勢が強まったことや、原油価格や天然ガス価格の下落を背景にインフレ動向の改善が期待されたことなどが利回りの低下要因となったものの、世界の主要中央銀行が政策金利を引き上げたことや、米国連邦公開市場委員会（FOMC）の議事要旨やECB高官の発言、米国やユーロ圏のPMIなどの堅調な経済指標からFRBおよびECBによる金融引き締め継続との見方が強まったこと、日銀が金融政策を修正し長期金利の許容変動幅の拡大を決定したことなどを背景に、各国の10年国債利回りは概して上昇しました。4月上旬から期間末にかけては、FRBによる利上げペースの鈍化が期待されたことや、ユーロ圏およびドイツの鉱工業生産や製造業PMI速報値が市場予想を下回ったことなどを背景に景気後退が懸念されたことが利回りの低下要因となったものの、一時強まった米国地方銀行

の破綻連鎖への懸念が後退したこと、米国連邦政府の債務上限停止法案は上下両院で可決し、懸念されたデフォルトが回避され投資家のリスク回避姿勢が和らいだこと、F R B議長の議会証言などからF R Bによる金融引き締めの長期化が見込まれたこと、E C Bなど世界の主要中央銀行が政策金利引き上げの継続を示したこと、格付け会社が米国国債の格付けを引き下げたことを受けて投資家のリスク回避姿勢が強まったことなどから、投資対象国の利回りは総じて上昇しました。

（国内短期金利市況）

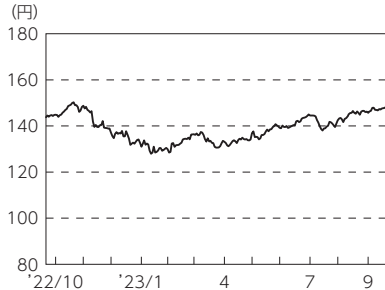
無担保コール翌日物金利は、期間の初めの-0.05%近辺から、日銀によるマイナス金利政策の下でコール市場でもマイナス圏での取引が続き、-0.05%近辺で期間末を迎えました。

国庫短期証券（T B）3ヵ月物金利は、期間の初めの-0.13%近辺から、日銀による国債買入れの継続などを受けてマイナス圏での推移が続き、-0.17%近辺で期間末を迎えました。

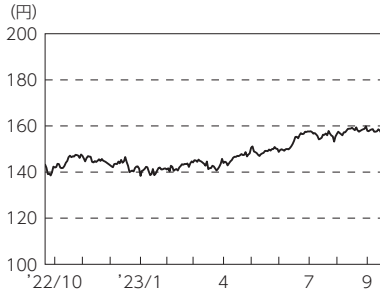
（為替市況）

期間中における主要通貨（対円）は、下記の推移となりました。

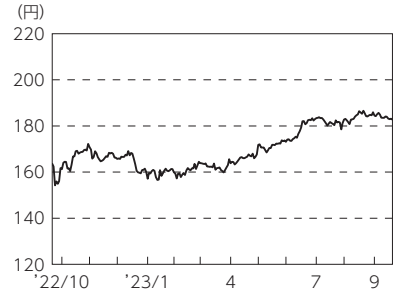
円／アメリカドルの推移



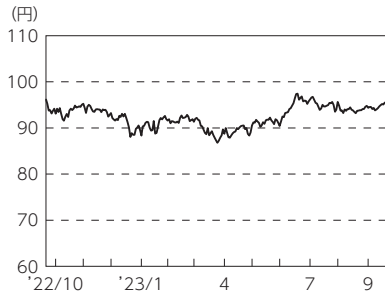
円／ユーロの推移



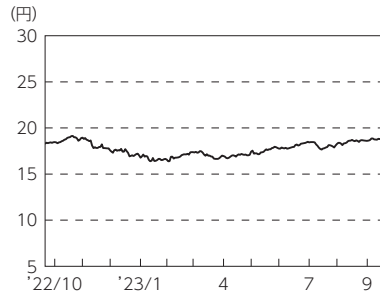
円／イギリスポンドの推移



円／オーストラリアドルの推移



円／香港ドルの推移



当ファンドのポートフォリオ

（2022年9月22日～2023年9月21日）

（当ファンド）

当ファンドは、収益性を追求するため、「グローバル3倍3分法ファンド（適格機関投資家向け）」受益証券を高位に組み入れ、「マネー・オープン・マザーファンド」受益証券への投資を抑制しました。

（グローバル3倍3分法ファンド（適格機関投資家向け））

主として、株式やREITに投資を行なう4つの受益証券に投資を行なうとともに、株価指数先物取引に係る権利および国債先物取引に係る権利に投資を行なうことで、実質的に日本を含む世界各国の株式、REITおよび債券に分散投資を行ない、インカム収益の確保と中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行ないました。現物の組入総額と先物取引の買建総額の組入合計額が純資産総額の3倍相当額となるように投資を行ないました。

（マネー・オープン・マザーファンド）

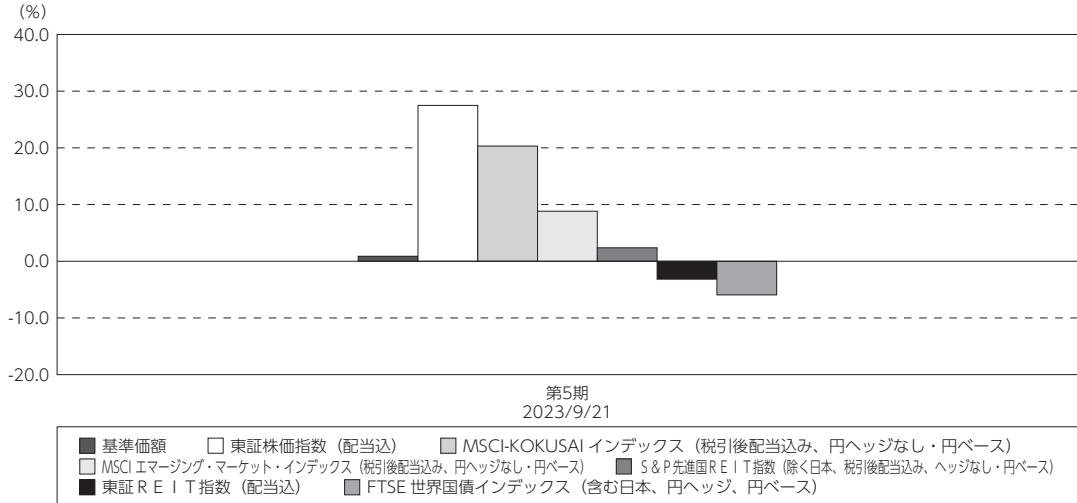
運用の基本方針に従い、国庫短期証券の購入や現先取引、コールローンや金銭信託などを通じて、元本の安全性を重視した運用を行ないました。

当ファンドのベンチマークとの差異

(2022年9月22日～2023年9月21日)

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。
 グラフは、当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率です。

基準価額と参考指数の対比（期別騰落率）



(注) 基準価額の騰落率は分配金 (税込み) 込みです。

(注) 東証株価指数 (配当込)、MSCI-KOKUSAI インデックス (税引後配当込み、円ヘッジなし・円ベース)、MSCI エマージング・マーケット・インデックス (税引後配当込み、円ヘッジなし・円ベース)、S & P 先進国 R E I T 指数 (除く日本、税引後配当込み、ヘッジなし・円ベース)、東証 R E I T 指数 (配当込) および FTSE 世界国債インデックス (含む日本、円ヘッジ、円ベース) は当ファンドの参考指数です。

分配金

（2022年9月22日～2023年9月21日）

分配金は、基準価額水準、市況動向などを勘案し、以下のとおりといたしました。なお、分配金に充たなかった収益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

○分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

| 項 目 | 第5期 |
|-----------|---------------------------|
| | 2022年9月22日～ 2023年9月21日 |
| 当期分配金 | － |
| （対基準価額比率） | －% |
| 当期の収益 | － |
| 当期の収益以外 | － |
| 翌期繰越分配対象額 | 3,655 |

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針**（当ファンド）**

引き続き、原則として「グローバル3倍3分法ファンド（適格機関投資家向け）」受益証券を高位に組み入れ、「マネー・オープン・マザーファンド」受益証券への投資を抑制する方針です。

（グローバル3倍3分法ファンド（適格機関投資家向け））

引き続き、主として、株式やREITに投資を行なう4つの受益証券に投資を行なうとともに、株価指数先物取引に係る権利および国債先物取引に係る権利に投資を行なうことで、実質的に日本を含む世界各国の株式、REITおよび債券に分散投資を行ない、インカム収益の確保と中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行ないます。現物の組入総額と先物取引の買建総額の組入合計額が純資産総額の3倍相当額となるように投資を行ないます。各資産への配分については、市況環境および投資対象資産のリスク水準などを勘案して決定する方針です。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

（マネー・オープン・マザーファンド）

引き続き、安定した収益の確保をめざして安定運用を行なう方針です。主な投資対象は、わが国の国債および格付の高い公社債とし、それらの現先取引なども活用する方針です。また、コールローンや金銭信託などに投資することもあります。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

今後ともご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

お知らせ

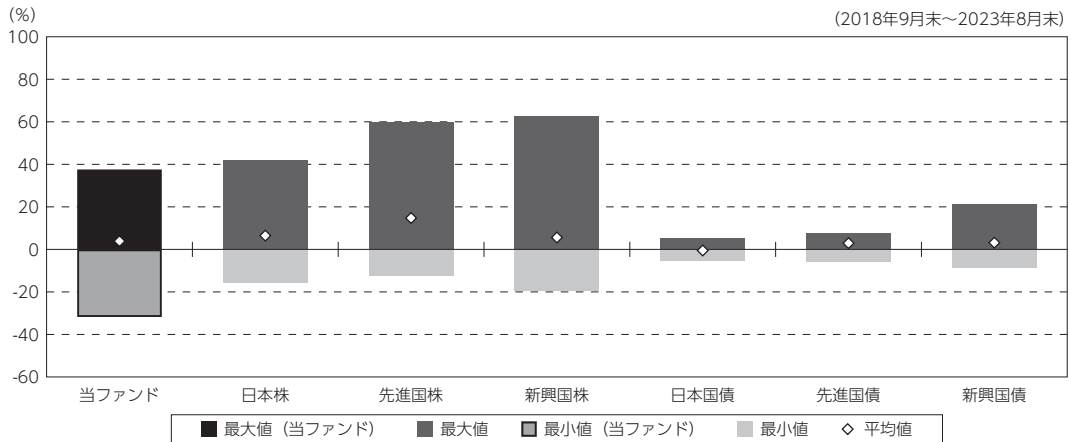
2022年9月22日から2023年9月21日までの期間に実施いたしました約款変更はございません。

当ファンドの概要

| | |
|--------|---|
| 商品分類 | 追加型投信／内外／資産複合 |
| 信託期間 | 2018年10月4日から原則無期限です。 |
| 運用方針 | 主として、日本を含む世界各国の株式、不動産投信および債券などを実質的な投資対象とする投資信託証券（投資信託または外国投資信託の受益証券（振替投資信託受益権を含みます。）および投資法人または外国投資法人の投資証券をいいます。）の一部、またはすべてに投資を行ない、インカム収益の確保と信託財産の成長をめざして運用を行ないます。 |
| 主要投資対象 | 投資信託証券を主要投資対象とします。 |
| 運用方法 | 主として、日本を含む世界各国の株式、不動産投信および債券などを実質的な投資対象とする投資信託証券の一部、またはすべてに投資を行ない、インカム収益の確保と信託財産の成長をめざして運用を行ないます。投資信託証券の合計組入率は、高位を保つことを原則とします。各投資信託証券への投資比率は、原則として、市況環境および投資対象ファンドの収益性などを勘案して決定します。 |
| 分配方針 | 毎決算時、原則として分配対象額のなかから、基準価額水準、市況動向などを勘案して分配を行なう方針です。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行なわないこともあります。 |

(参考情報)

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位:%)

| | 当ファンド | 日本株 | 先進国株 | 新興国株 | 日本国債 | 先進国債 | 新興国債 |
|-----|--------|--------|--------|--------|-------|-------|-------|
| 最大値 | 37.6 | 42.1 | 59.8 | 62.7 | 5.4 | 7.9 | 21.5 |
| 最小値 | △ 31.8 | △ 16.0 | △ 12.4 | △ 19.4 | △ 5.5 | △ 6.1 | △ 8.8 |
| 平均値 | 3.9 | 6.5 | 14.8 | 5.6 | △ 0.5 | 2.9 | 3.2 |

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2018年9月から2023年8月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。なお、当ファンドは2019年10月以降の年間騰落率を用いております。

(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

《各資産クラスの指数》

日本株：東証株価指数（TOPIX、配当込）

先進国株：MSCI-KOKUSAI インデックス（配当込、円ベース）

新興国株：MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込、円ベース）

日本国債：NOMURA-BPI 国債

先進国債：FTSE 世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

新興国債：JP モルガン GBI-EM グローバル・ディバーシファイド（円ヘッジなし、円ベース）

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

当ファンドの参考指数について**●MSCI エマージング・マーケット・インデックス（税引後配当込み、円ヘッジなし・円ベース）**

MSCI エマージング・マーケット・インデックスは、MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数です。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

●S & P先進国REIT指数（除く日本、税引後配当込み、ヘッジなし・円ベース）

S & P先進国REIT指数（除く日本）は、スタンダード&プアーズ ファイナンシャル サービスズ エル エル シー社（S & P社）が発表している、日本を除く世界の主要国の不動産投信市場の合成パフォーマンスを表す指数です。

●FTSE世界国債インデックス（含む日本、円ヘッジ、円ベース）

FTSE世界国債インデックス（含む日本）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を含む世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、当指数に関する著作権等の知的財産その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。

指数について

●**東証株価指数（TOPIX、配当込）**は、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、株式会社 J P X 総研又は株式会社 J P X 総研の関連会社に帰属します。●**MSCI-KOKUSAIインデックス（配当込、円ベース）**は、MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。●**MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込、円ベース）**は、MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。●**NOMURA-BPI国債**は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が公表している指数で、その知的財産権は野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属します。なお、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社は、対象インデックスの正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、対象インデックスを用いて行われる日興アセットマネジメント株式会社の事業活動・サービスに関し一切責任を負いません。●**FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）**は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、当指数に関する著作権等の知的財産その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。●**JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースファイド（円ヘッジなし、円ベース）**は、J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLCに帰属します。

当ファンドのデータ

組入資産の内容

(2023年9月21日現在)

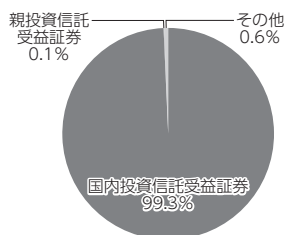
○組入上位ファンド

| 銘柄名 | 第5期末 |
|---------------------------|------|
| | % |
| グローバル3倍3分法ファンド（適格機関投資家向け） | 99.3 |
| マネー・オープン・マザーファンド | 0.1 |
| 組入銘柄数 | 2銘柄 |

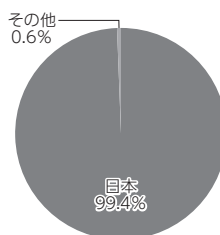
(注) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

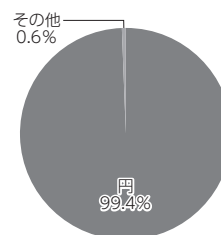
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

純資産等

| 項目 | 第5期末 |
|------------|------------------|
| | 2023年9月21日 |
| 純資産総額 | 163,277,808,578円 |
| 受益権総口数 | 132,105,370,231口 |
| 1万口当たり基準価額 | 12,360円 |

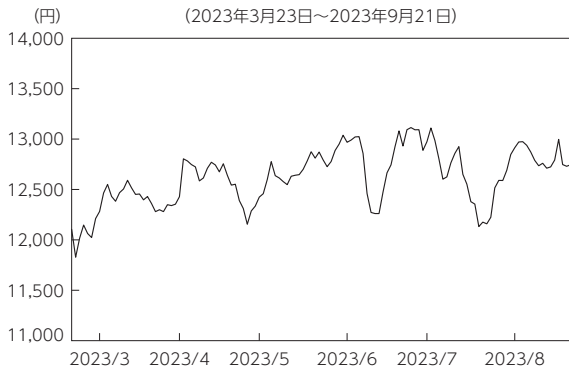
(注) 期中における追加設定元本額は24,387,803,435円、同解約元本額は17,890,740,462円です。

組入上位ファンドの概要

グローバル3倍3分法ファンド（適格機関投資家向け）

【基準価額の推移】

(2023年3月23日～2023年9月21日)



(注) グラフは分配金再投資基準価額です。

【1万口当たりの費用明細】

(2023年3月23日～2023年9月21日)

| 項 目 | 第55期～第60期 | |
|---------------------|-----------|-----------|
| | 金 額 | 比 率 |
| (a) 信 託 報 酬 | 6 | 0.044 |
| (投 信 会 社) | (4) | (0.033) |
| (販 売 会 社) | (-) | (-) |
| (受 託 会 社) | (1) | (0.011) |
| (b) 売 買 委 託 手 数 料 | 3 | 0.027 |
| (株 式) | (0) | (0.003) |
| (投 資 信 託 証 券) | (0) | (0.002) |
| (先 物 ・ オ プ シ ョ ン) | (3) | (0.022) |
| (c) 有 価 証 券 取 引 税 | 1 | 0.005 |
| (株 式) | (0) | (0.004) |
| (投 資 信 託 証 券) | (0) | (0.001) |
| (d) そ の 他 費 用 | 5 | 0.036 |
| (保 管 費 用) | (3) | (0.022) |
| (監 査 費 用) | (0) | (0.001) |
| (印 刷 費 用 等) | (1) | (0.005) |
| (そ の 他) | (1) | (0.008) |
| 合 計 | 15 | 0.112 |

作成期間の平均基準価額は、12,665円です。

- (注) 上記項目の概要につきましては運用報告書(全体版)をご参照ください。
- (注) 作成期間の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
- (注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
- (注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。
- (注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

【組入上位10銘柄】

(2023年9月21日現在)

| | 銘 柄 名 | 業 種 / 種 別 等 | 通 貨 | 国 (地 域) | 比 率 |
|-------|--------------|-------------|-----------|-----------|------|
| | | | | | % |
| 1 | GILT10Y | 債券先物(買建) | イギリスポンド | イギリス | 41.2 |
| 2 | AUSTR10Y | 債券先物(買建) | オーストラリアドル | オーストラリア | 40.4 |
| 3 | 長期国債先物 | 債券先物(買建) | 円 | 日本 | 40.3 |
| 4 | TNOTE10Y | 債券先物(買建) | アメリカドル | アメリカ | 40.0 |
| 5 | BUND10Y | 債券先物(買建) | ユーロ | ドイツ | 39.6 |
| 6 | T O P I X 先物 | 株式先物(買建) | 円 | 日本 | 20.5 |
| 7 | - | - | - | - | - |
| 8 | - | - | - | - | - |
| 9 | - | - | - | - | - |
| 10 | - | - | - | - | - |
| 組入銘柄数 | | 6銘柄 | | | |

(注) 比率は、純資産総額に対する割合です。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

(注) 国(地域)につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

【組入上位ファンド】

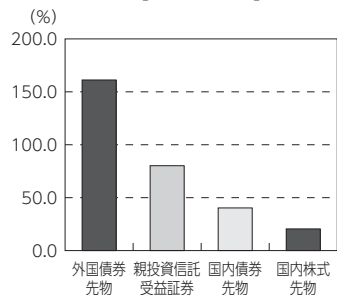
(2023年9月21日現在)

| 銘柄名 | 第60期末 |
|---------------------------------------|-------|
| | % |
| 海外新興国株式インデックスMSCIエマージング（ヘッジなし）マザーファンド | 20.2 |
| 海外リートインデックス（ヘッジなし）マザーファンド | 20.1 |
| 海外株式インデックスMSCI-KOKUSAI（ヘッジなし）マザーファンド | 20.1 |
| 日本リートインデックスJ-R E I Tマザーファンド | 19.7 |
| 組入銘柄数 | 4銘柄 |

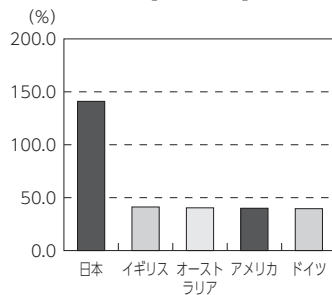
(注) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

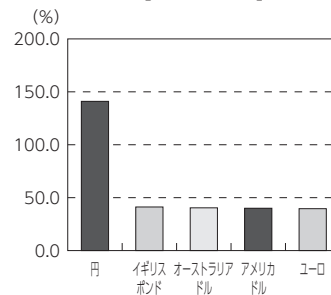
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】

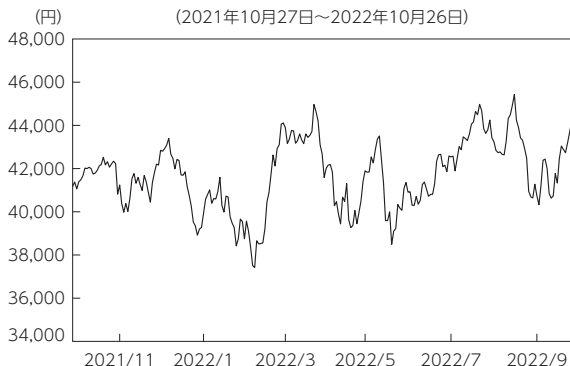


(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

＜ご参考＞ 海外株式インデックスMSCI-KOKUSAI（ヘッジなし）マザーファンド

【基準価額の推移】



【1万口当たりの費用明細】

(2021年10月27日～2022年10月26日)

| 項目 | 当期 | |
|--|------------------------|--|
| | 金額 | 比率 |
| (a) 売買委託手数料 (株 式 式) (投資信託証券) (先物・オプション) | 2 (1) (0) (0) | 0.004 (0.003) (0.000) (0.001) |
| (b) 有価証券取引税 (株 式 式) (投資信託証券) | 1 (1) (0) | 0.003 (0.002) (0.000) |
| (c) その他費用 (保管費用) (その他) | 7 (9) (△2) | 0.016 (0.021) (△0.005) |
| 合計 | 10 | 0.023 |

期中の平均基準価額は、41,666円です。

(注) 上記項目の概要につきましては運用報告書(全体版)をご参照ください。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

【組入上位10銘柄】

(2022年10月26日現在)

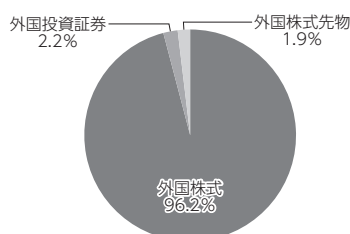
| 銘柄名 | 業種/種別等 | 通貨 | 国(地域) | 比率 | |
|--------------------------|---------------------|---------|-------|------|--|
| 1 APPLE INC | テクノロジー・ハードウェアおよび機器 | アメリカドル | アメリカ | 5.3% | |
| 2 MICROSOFT CORP | ソフトウェア・サービス | アメリカドル | アメリカ | 3.8% | |
| 3 AMAZON.COM INC | 小売 | アメリカドル | アメリカ | 2.4% | |
| 4 SP EMINI | 株式先物(買建) | アメリカドル | アメリカ | 1.6% | |
| 5 ALPHABET INC-CL A | メディア・娯楽 | アメリカドル | アメリカ | 1.3% | |
| 6 ALPHABET INC-CL C | メディア・娯楽 | アメリカドル | アメリカ | 1.3% | |
| 7 TESLA INC | 自動車・自動車部品 | アメリカドル | アメリカ | 1.3% | |
| 8 UNITEDHEALTH GROUP INC | ヘルスケア機器・サービス | アメリカドル | アメリカ | 1.1% | |
| 9 JOHNSON & JOHNSON | 医薬品・バイオテクノロジー/サイエンス | アメリカドル | アメリカ | 1.0% | |
| 10 EXXON MOBIL CORP | エネルギー | アメリカドル | アメリカ | 1.0% | |
| 組入銘柄数 | | 1,272銘柄 | | | |

(注) 比率は、純資産総額に対する割合です。

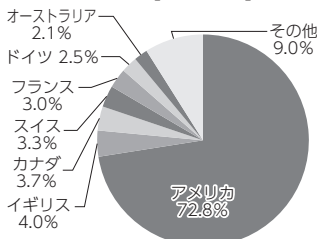
(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

(注) 国(地域)につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

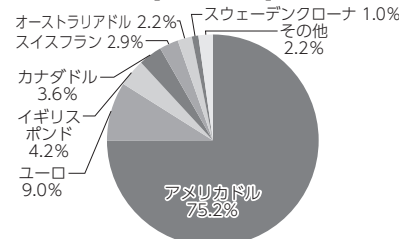
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



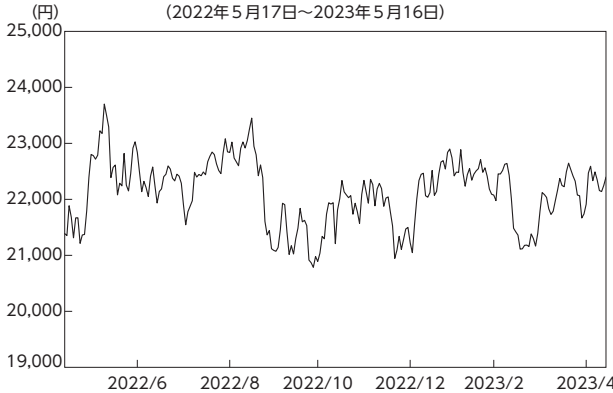
(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

※当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は運用報告書(全体版)をご参照ください。

＜ご参考＞ 海外新興国株式インデックスMSCIエマージング（ヘッジなし）マザーファンド

【基準価額の推移】



【1万口当たりの費用明細】

| 項目 | 当期 | |
|--|-------------------------------|--|
| | 金額 | 比率 |
| | 円 | % |
| (a) 売買委託手数料 (株 式) (投 資 信 託 証 券) (先 物 ・ オ プ シ ョ ン) | 10 (6) (0) (3) | 0.044 (0.029) (0.000) (0.015) |
| (b) 有価証券取引税 (株 式) | 8 (8) | 0.035 (0.035) |
| (c) その他費用 (保 管 費 用) (そ の 他) | 60 (42) (18) | 0.271 (0.188) (0.082) |
| 合 計 | 78 | 0.350 |

期中の平均基準価額は、22,042円です。

(注) 上記項目の概要につきましては運用報告書（全体版）をご参照ください。
 (注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
 (注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

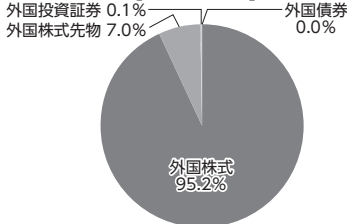
【組入上位10銘柄】

(2023年5月16日現在)

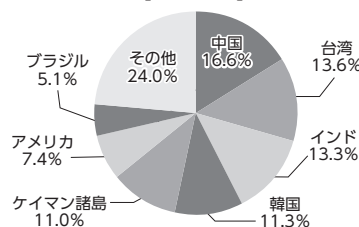
| 銘柄名 | 業種／種別等 | 通貨 | 国（地域） | 比率 |
|--------------------------------|--------------------|---------|--------|------|
| 1 MINMSCIE | 株式先物（買建） | アメリカドル | アメリカ | 7.0% |
| 2 TAIWAN SEMICONDUCTOR MANUFAC | 半導体・半導体製造装置 | 新台湾ドル | 台湾 | 5.8 |
| 3 TENCENT HOLDINGS LTD | メディア・娯楽 | 香港ドル | 中国 | 4.0 |
| 4 SAMSUNG ELECTRONICS CO LTD | テクノロジー・ハードウェアおよび機器 | 韓国ウォン | 韓国 | 3.4 |
| 5 ALIBABA GROUP HOLDING LTD | 一般消費財・サービス流通・小売り | 香港ドル | ケイマン諸島 | 2.4 |
| 6 RELIANCE INDUSTRIES LTD | エネルギー | インドルピー | インド | 1.4 |
| 7 MEITUAN-CLASS B | 消費者サービス | 香港ドル | ケイマン諸島 | 1.3 |
| 8 CHINA CONSTRUCTION BANK-H | 銀行 | 香港ドル | 中国 | 1.0 |
| 9 ICICI BANK LTD | 銀行 | インドルピー | インド | 0.9 |
| 10 HOUSING DEVELOPMENT FINANCE | 金融サービス | インドルピー | インド | 0.9 |
| 組入銘柄数 | | 1,211銘柄 | | |

(注) 比率は、純資産総額に対する割合です。
 (注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。
 (注) 国（地域）につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

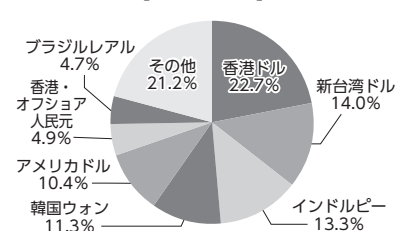
【資産別配分】



【国別配分】



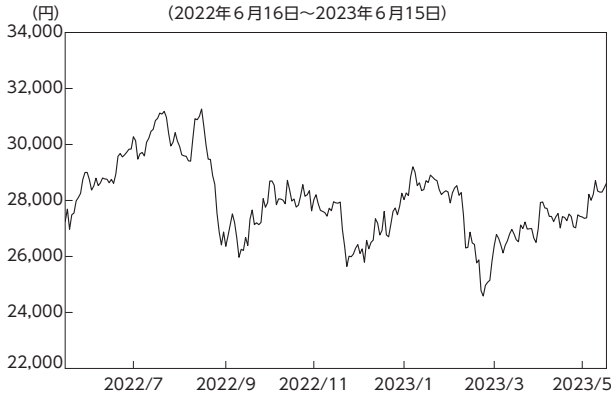
【通貨別配分】



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。
 (注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。
 ※当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は運用報告書（全体版）をご参照ください。

＜ご参考＞ 海外リートインデックス（ヘッジなし）マザーファンド

【基準価額の推移】



【1万口当たりの費用明細】

(2022年6月16日～2023年6月15日)

| 項目 | 当期 | |
|------------------------------|-------------------|-----------------------------|
| | 金額 | 比率 |
| (a) 売買委託手数料 (投資信託証券) | 7 (7) | 0.025 (0.025) |
| (b) 有価証券取引税 (投資信託証券) | 4 (4) | 0.016 (0.016) |
| (c) その他費用 (保管費用) (その他) | 24 (17) (7) | 0.085 (0.060) (0.025) |
| 合計 | 35 | 0.126 |

期中の平均基準価額は、27,931円です。

(注) 上記項目の概要につきましては運用報告書（全体版）をご参照ください。
 (注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
 (注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

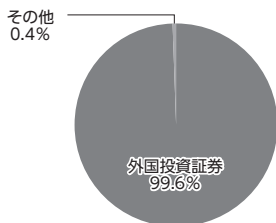
【組入上位10銘柄】

(2023年6月15日現在)

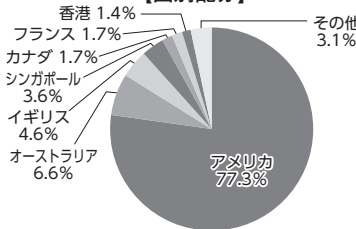
| | 銘柄名 | 業種／種別等 | 通貨 | 国（地域） | 比率 |
|----|---------------------------|--------|-----------|---------|------|
| 1 | PROLOGIS INC | 投資証券 | アメリカドル | アメリカ | 8.9% |
| 2 | EQUINIX INC | 投資証券 | アメリカドル | アメリカ | 5.6% |
| 3 | PUBLIC STORAGE | 投資証券 | アメリカドル | アメリカ | 3.5% |
| 4 | WELLTOWER INC | 投資証券 | アメリカドル | アメリカ | 3.0% |
| 5 | REALTY INCOME CORP | 投資証券 | アメリカドル | アメリカ | 3.0% |
| 6 | SIMON PROPERTY GROUP INC | 投資証券 | アメリカドル | アメリカ | 2.8% |
| 7 | VICI PROPERTIES INC | 投資証券 | アメリカドル | アメリカ | 2.5% |
| 8 | DIGITAL REALTY TRUST INC | 投資証券 | アメリカドル | アメリカ | 2.4% |
| 9 | AVALONBAY COMMUNITIES INC | 投資証券 | アメリカドル | アメリカ | 2.1% |
| 10 | GOODMAN GROUP | 投資証券 | オーストラリアドル | オーストラリア | 1.8% |
| | 組入銘柄数 | | 321銘柄 | | |

(注) 比率は、純資産総額に対する割合です。
 (注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。
 (注) 国（地域）につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

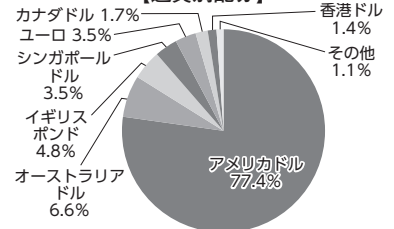
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】

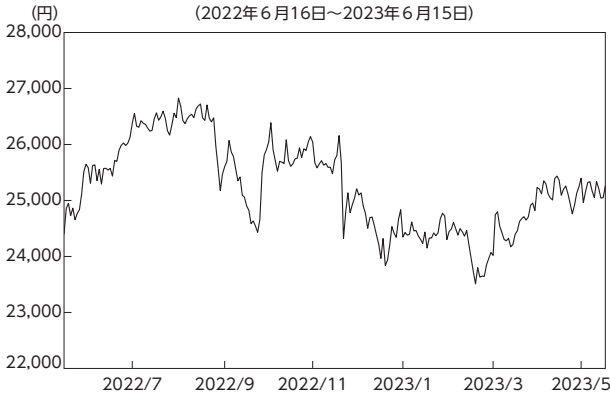


(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。
 (注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。
 (注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

※当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は運用報告書（全体版）をご参照ください。

＜ご参考＞ 日本リートインデックスJ-REITマザーファンド

【基準価額の推移】



【1万口当たりの費用明細】

(2022年6月16日～2023年6月15日)

| 項目 | 当期 | |
|-------------------------|----------|------------------|
| | 金額 | 比率 |
| | 円 | % |
| (a) 売買委託手数料 (投資信託証券) | 0 (0) | 0.000 (0.000) |
| (b) その他費用 (その他) | 0 (0) | 0.000 (0.000) |
| 合計 | 0 | 0.000 |

期中の平均基準価額は、25,432円です。

(注) 上記項目の概要につきましては運用報告書（全体版）をご参照ください。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

【組入上位10銘柄】

(2023年6月15日現在)

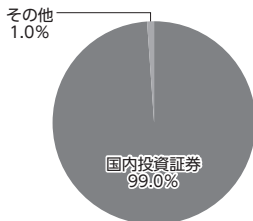
| 順位 | 銘柄名 | 業種／種別等 | 通貨 | 国（地域） | 比率 |
|-------|------------------------|--------|------|-------|-----|
| 1 | 日本ビルファンド投資法人 投資証券 | 投資証券 | 円 | 日本 | 6.2 |
| 2 | ジャパンリアルエステイト投資法人 投資証券 | 投資証券 | 円 | 日本 | 5.2 |
| 3 | 野村不動産マスターファンド投資法人 投資証券 | 投資証券 | 円 | 日本 | 4.9 |
| 4 | 日本プロロジスリート投資法人 投資証券 | 投資証券 | 円 | 日本 | 4.8 |
| 5 | 日本都市ファンド投資法人 投資証券 | 投資証券 | 円 | 日本 | 4.6 |
| 6 | GLP投資法人 投資証券 | 投資証券 | 円 | 日本 | 4.6 |
| 7 | 大和ハウスリート投資法人 投資証券 | 投資証券 | 円 | 日本 | 4.1 |
| 8 | オリックス不動産投資法人 投資証券 | 投資証券 | 円 | 日本 | 3.4 |
| 9 | アドバンス・レジデンス投資法人 投資証券 | 投資証券 | 円 | 日本 | 3.4 |
| 10 | ユナイテッド・アーバン投資法人 投資証券 | 投資証券 | 円 | 日本 | 3.1 |
| 組入銘柄数 | | | 60銘柄 | | |

(注) 比率は、純資産総額に対する割合です。

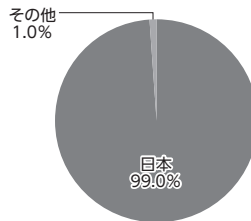
(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

(注) 国（地域）につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

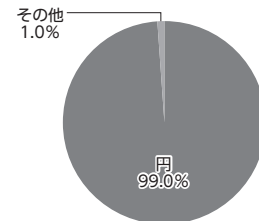
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

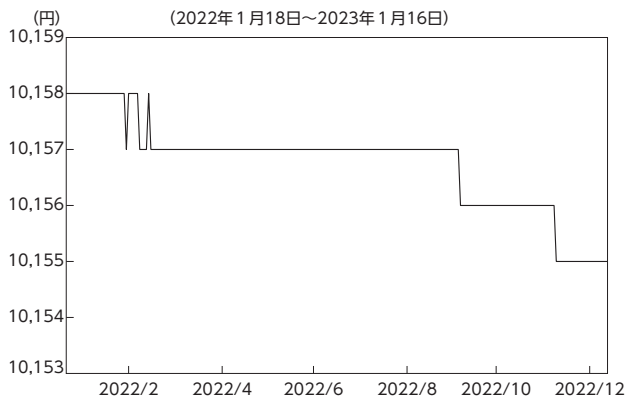
(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

※当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は運用報告書（全体版）をご参照ください。

マネー・オープン・マザーファンド

【基準価額の推移】

(2022年1月18日～2023年1月16日)



【1万口当たりの費用明細】

(2022年1月18日～2023年1月16日)

該当事項はございません。

組入資産の内容

(2023年1月16日現在)

2023年1月16日現在、有価証券等の組入れはございません。

※当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は運用報告書（全体版）をご参照ください。